

2 今年度の研究の視点と方法

視点1

見方・考え方

- ◆働かせたい
見方考え方の明確化
- ◆单元デザインの工夫
- ◆課題や問題、資料、問いの吟味

【方 法】

- ☑指導事項を的確に捉えた教材研究
- ☑单元デザインシートの作成
- ☑セレクト学習の位置づけ
(見方・考え方を働かせながら主体的に学ぶ
場面を单元の中に設定する)
- ☑児童が見方・考え方に気付くしかけ作り
- ☑気づきを促したり、学びを深めたりする問
いの精選

視点2

対話の活性化

- ◆目的や視点の共有
- ◆他者参照の有効活用
- ◆探究的・課題解決的な
学びの過程

【方 法】

- ☑思考の軸をそろえる一斉指導
- ☑ICT を効果的に活用した他者参照の仕組み
作り
- ☑自分ごととなるような課題やゴールの設定
- ☑対話のスキルアップのための日常的な取組

視点3

教師の見取り

- ◆子どもの状況に応じた
関わり(個・全体)
- ◆ICT を活用した
学習状況の把握
- ◆検証

【方 法】

- ☑C を B、B を A にするための個別の支援
- ☑児童をつなぐ働きかけ
- ☑全体の思考を促すアナウンスや価値づけ
- ☑学習支援ソフトの効果的な活用
- ☑児童のふりかえりの分析(生成 AI の活用)
- ☑言語活動の成果物やプラスワンテストでの
評価と検証

外部講師を招聘した 研修会の実施

- ・LDX スクール事業
- ・学びのベーシック事業
- ・プロセスアシスト訪問

研究授業の 実施と協議

- ・全体研究授業、部会授業
- ・若プロチャレンジ授業
- ・校内研修会

日常的な実践交流による 事例の収集と共有

- ・浜 DX 実践交流
- ・浜 DX★DAY
- ・授業づくり研修の実施

3 研究組織と進め方

